

令和5年3月23日

各 位

(一社)日本非破壊検査協会

赤外線サーモグラフィ部門

主査 遠藤 英樹

[公印省略]

赤外線サーモグラフィミニシンポジウム開催について

拝啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

日本非破壊検査協会赤外線サーモグラフィ部門では、2023年3月31日(金)に「赤外線サーモグラフィミニシンポジウム」を開催いたします。本シンポジウムでは、最新の原子力分野のアクティビティ及び放射率測定に関する講演だけでなく、非破壊分野への適用が進められているテラヘルツ波の最新事例についても紹介いただきます。また、建築分野では昨年4月から定期報告制度で赤外線装置を搭載したドローンが正式に使用できるようになるなど大きな変化があり、外壁調査の”今”についてもご紹介いただく予定です。

ご多用のこととは存じますが、万障繰り合わせの上、ご出席くださるようご案内申し上げます。なお、出欠席のご返事をFax又はe-mailで **3月29日(水)まで**にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。 敬具

記

- 開催月日 : 2023年3月31日(金) ミニシンポジウム 13:30~15:45
- 場 所 : (一社)日本非破壊検査協会 6C会議室
- 連絡先 : (一社)日本非破壊検査協会 赤外線サーモグラフィミニシンポジウム係
Fax: 03-5609-4061 E-mail:nakamura@jsndi.or.jp
- ミニシンポジウム参加費:

赤外線サーモグラフィ部門登録団体会員	無料(論文集1冊を含む)
赤外線サーモグラフィ部門登録個人会員	
登壇者・座長	
上記以外のJSNDI正会員	¥1,000(論文集1冊を含む)
非会員	¥2,000(論文集1冊を含む)

5. 講演

- ① 可視性を有する赤外線透過保護絶縁保護カバー及び原子力部門における赤外線ドローンの活用について(13:30~14:00)
○米澤 和宏(日本原子力発電(株))
- ② 偏光子を用いた簡易放射率測定法(14:05~14:35)
○小笠原 永久, 斉藤 順哉, 山田 浩之(防衛大学校)
- ③ テラヘルツ波を使用した非破壊検査への取組みと事例(14:40~15:10)
○矢尾板 達也((株)ケン・オートメーション)
- ④ 赤外線法による外壁調査の現状 -無人航空機による調査を含む-(15:15~15:45)
○佐藤 大輔((株)コンステック) 以上

赤外線サーモグラフィミニシンポジウム出席連絡票

切り取らずこのままにFAX又はe-mailでお知らせ下さい。

出席連絡表

講演会に出席いたします

氏名 : _____

勤務先 : _____

Fax:03-5609-4061 / (事務局 中村) **e-mail: nakamura@jsndi.or.jp**